

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	宮崎 元良
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3 2 5 4
事務事業名	4127 廃プラスチック再資源化事業						
所 属	140100 環境部・生活環境課						
施 策	03011200 循環型社会の形成						
会計	01 一般会計						
科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費						
事業	040000 廃プラスチック再資源化事業						
事業目的	廃プラスチック類容器包装、ペットボトル等のリサイクルの促進を図る。			事業概要・効果			
				廃プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化が図れた。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
安全かつ安定した、廃プラスチック類容器の圧縮梱包処理を行うため、減容機油圧シリンダーのオーバーホールを実施した。	廃プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化が図れた。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
安全かつ安定した、廃プラスチック類容器の圧縮梱包処理を行うため、減容機、押し出しゲートシリンダーのオーバーホールを実施した。 大雪により破損した、ストックヤードのテント施設シートを修繕した。	廃プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化を図る。 安全かつ安定した、プラスチック類容器の圧縮梱包処理を行うため、結束機の交換を実施する。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		54,748	51,295
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	34,503	33,477
一般財源		20,245	17,818
人員数(人)	正規職員	0.6	0.6
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.2	0.0
人員コスト	正規職員	4,114.8	4,114.8
	嘱託職員	817.5	817.5
	臨時職員	235.4	0.0
	計	5,167.7	4,932.3
市民一人当たりの経費		1.1	1.1
総額		59,915.7	56,227.3

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	9,267	修繕料
13節 委託費	44,890	有価物処理委託料、廃プラスチック収集委託料、ストックヤード管理業委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	591	ペットボトル売却収入負担金
その他	0	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	300	修繕料
13節 委託費	46,010	有価物処理委託料、廃プラスチック収集委託料、ストックヤード管理業委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	675	ペットボトル売却収入負担金
その他	4,310	役務費(手数料)、備品購入費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	廃プラスチック類容器及びペットボトル等の資源化により、ごみの減量を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	廃プラスチック類容器及びペットボトル等の資源化により、ごみの減量を図る。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	引続きストックヤードの維持管理を民間事業者へ委託し、経費の削減を図る。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

廃プラスチック類容器及びペットボトルの適正な処理を行い、リサイクルを推進し、ごみの減量、環境型社会の形成及び清掃センターの処理負担の軽減が図れた。
大雪により破損した、ストックヤードのテント施設シートを修繕した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
環境基本計画、廃棄物処理計画に基づきごみの資源化を図るため事業を継続する。清掃センターの延命、CO ₂ 削減のためにも、重要な事業である。正規職員を1名増とし、積極的な事業展開を行う必要がある。		可燃ごみの減量と密接不可分な事業。当市の容器包装プラスチックの品質は高い評価を得ている。市民とともにこれを維持・継続したい。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	